教育プログラム・コースの概要

大学名等	東京科学大学拠点連携校共通
教育プログラム・コース名	連携7校共通：緩和医療連携コース（インテンシブコース）
対象職種・分野	医師、歯科医師、看護師、薬剤師、その他の医療職（公認心理師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等）
修業年限（期間）	1年
養成すべき人材像	・がん患者が抱える全人的苦痛を理解し、緩和医療についての専門的な知識・スキルを身につけ、患者・家族が求める支援を行うことができる医療従事者。 ・他職種の役割を理解し、緩和医療における有機的なチームアプローチを実践できる医療従事者。
修了要件・履修方法	本教育プログラム・コースで定める講義の７割以上を履修し、連携大学での実習に参加の上、試験に合格すること。
履修科目等	＜講義＞ 「緩和医療概論」「疼痛緩和」「疼痛以外の身体症状緩和」「精神・心理的ケア」「家族ケア・グリーフケア」「多職種協働・チーム医療」「緩和的外科治療」「緩和医療における口腔ケア」「在宅緩和医療」等 ＜実習＞ 連携大学での実習に参加する（実習内容については選択制） （例）緩和ケアチーム、緩和ケア病棟、ペインクリニック（神経ブロックや鍼灸治療を含む）、骨転移キャンサーボード、がんリハビリテーション等
がんに関する専門資格との連携	・日本緩和医療学会認定医・専門医、日本ペインクリニック学会専門医 ・認定看護師（緩和ケア、がん性疼痛看護）、専門看護師（がん看護） ・緩和薬物療法認定薬剤師 等
教育内容の特色等（新規性・独創性等）	本コースの新規性は、多施設・多職種が連携した研修内容となっている点である。がん医療に携わるすべての医療者が基本的緩和ケアを習得することが社会のニーズとして求められているが、まだその普及は十分ではなく、本コースを修了することで身体的苦痛だけでなく精神心理的苦痛、社会的苦痛、スピリチュアルペインに対する対応など、緩和医療を幅広く学ぶことが可能である。なお、各分野における実施研修も可能である。
指導体制	緩和医療専門医、ペインクリニック専門医、緩和薬物療法認定薬剤師、専門・認定看護師、理学療法士・作業療法士、公認心理師・臨床心理士等が直接指導にあたる。
修了者の進路・キャリアパス	がん拠点病院や地域の中核的病院で、医療チームの一員として、がん患者や家族の苦痛の軽減やQOLの向上に視点をおいた緩和医療を提供できる医療従事者を育成する。また将来的には上記専門資格の取得を目指すことが可能である。
受入開始時期	令和6年4月

受入目標人数 ※当該年度に「新たに」入学する人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	20	20	20	20	20	100

受入目標人数設定の考え方・根拠	7大学からそれぞれ2～4人/年の志願者が見込まれることから、受入れ目標人数を20人/年と設定した。

履修者数 ※当該年度に「新たに」入学した人数を記載。 ※新規に設置したコースに限る。	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	計
	0	24					24